

# あかど すこうたより

冬休み直前号

令和2年 12月 25日  
 荒川区立赤土小学校  
 校長 小島 武志  
 図工専科 中島 綾子

## 展覧会を終えて

11月の展覧会では、たくさんの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。会場では、アートを通して、子供同士や親子などたくさんの心の交流が生まれていました。保護者の方からの感想用紙には「持って帰ってくるのを楽しみにしているよ。」「〇〇が素敵だね。」といった肯定的な言葉が多く、とても嬉しく思いました。子供にとって、「自分がつくりだしたものは受け入れてもらえるんだ。楽しんでもらえるんだ。」という安心の土台があることが、表現活動の基礎になります。赤土の子供たちがのびのびと表現し、お互いの表現を認め合えるのは、ご家庭でのこのような土台が心にあるからなんだなと思いました。

## 芸術の「冬」！ その後の活動

冬休み迫る12月、3～6年生の図工室での活動です。

◆3年生「紙工作で何つくろう？」

厚い工作用紙に、ニードルで折り糸糸をつけ、きれいに折る方法を知り、思い描いたものをついてきました。  
 3年生の豊かな発想におどろかされました。

◆4年生「幸せシーサー」

沖縄の伝統的図工である「シーサー」を、素朴な土粘土でつくりました。魔よけや福をよびこむ意味があると言われている。  
 強そうだけど、どこかユーモラスな表情のシーサーたちは、3学期に色つけよう。

とちゅうはカエシ外付けだね

800℃で焼きます

◆5年生「電のこマスターになろう！」

電動糸のきりは曲線が自由自在にたわんで、とても便利な道具です。刃のつけ方、安全な扱い方を知らず、ダンボールでセッパの練習をしました。  
 「新年おめでとう！」をテーマにミニ作品を制作中。  
 1月初めの授業で完成。展示予定は(図工前)

◆6年生「12才の力で」

めさ板という長細い板材や木枠をつくり、そこに木棚や扉、ひきだしなど、イメージをふくらませて、自分のつくりたいものにしていきます。  
 小学校最後の木工作として、記念になるように、こわいにくるこもめあてです。

3学期につきます

☆図工のもちもの☆ (冬休み中、確認をお願いします！)

- ・筆箱 (鉛筆・消しゴム・油性ペン)・液体のり (スティックは×)・はさみ (手の大きさに合ったもの)
- ・絵の具セット (絵の具12色・パレット・筆2～3本・そうきん・水入れ)
- ・汚れてもよい服装 (上から着るものでもよい)